

に女性向けバッグなど小物類を商品化し、3年以内に主力商品に育て、西陣織の新市場開拓を目指す。

炭素繊維は軽量で強度

や弾性に優れるが、繊細で製織が難しい。絹糸は

同社は呉服の帯製織などで培ったノウハウと西陣特有の丈夫な織物製織方法、機械の独自改良で、けば立ちがなく、解けにくい織物を生産する。

同社は3年前に炭素繊維織物の製織技術確立。同繊維のヘドロや微生物を吸着する性質に着目し、海や川の水質浄化材として生産している。新開発した織物は、この製織技術を応用した。

高機能織物事業を主力事業に育て、全体の売上高で3年後に05年度実績の5倍となる2億5000万円を狙う。売上高の7割は和装商品が占めるが、今後は炭素繊維などを活用した高機能織物事業に力を注ぐ。

炭素繊維で西陣織

軽くて丈夫

フクオカ機業

【京都】フクオカ機業（京都市上京区、福岡裕典社長、075・441・0235）は、西陣織の技法を用いて製織の難

しい炭素繊維と絹糸などを織り交ぜた織物（写真）を開発した。軽くて丈夫な特性を持つ。同織物を使って08年2月まで

20万円（マイクロは100万分の1）の繊維を84本束ねるのに対し、炭素繊維の糸は1本7万円分の繊維を1000〜1万2000本収束して作る。